

事務事業名		成人大学講座(趣味・創作講座)開催事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	25: 生涯学習の推進									
	基本事業名	02: 市民の学習活動への支援			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成6 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	10	05	04	17
根拠法令											
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課									
	係名	三陸公民館	電話	0192-27-3111							
			内線	7167							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)				
・ゆとりや潤いのある生活を送るために、趣味創作の学習機会を提供する。 ・趣味創作講座の開設(絵てがみ、ヨガ、ニュースポーツ、ガーデニング(園芸)、パンフラワー、書道、陶芸、ギターなど) ・事業費は、講師謝金、旅費などに支出する。							総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
										都道府県支出金	
										地方債	
										その他	
										一般財源	
										事業費計(A)	0
	人件費	正規職員従事人数									
		延べ業務時間									
		人件費計(B)	0								
		トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・開催期間(6月~12月) ・絵てがみ、ヨガ、ニュースポーツ、ガーデニング(園芸)、パンフラワー、書道、陶芸、ギター講座を開設した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。		名称	単位
		ア	講座数 講座
		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 受講者(市内に在住もしくは勤務する成人)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ	受講者数 人
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 学ぶ楽しさを知り、日々の生活の中に取り入れたり、引き続き学習活動を行ったりするようになる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ	講座終了後サークルに参加する受講者 人
		シ	講座終了後サークルに参加する受講者/受講者数 %
		ス	講座の参加率(出席率) %
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 学習意欲の啓発・向上がなされている。 主体的な学習活動が行われている。 学習成果が発揮されている。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	560	545	634	551	643	650
		事業費計(A)	千円	560	545	634	551	643	650
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	450	450	560	560	560	560
		人件費計(B)	千円	1,800	1,800	2,240	2,240	2,240	2,240
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,360	2,345	2,874	2,791	2,883	2,890
活動指標	ア	講座	9	8	8	8	8	8	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	181	188	180	135	180	180	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	人	12	13	20	14	16	17	
	シ	%	6.6	6.9	11.1	10.4	8.8	9.4	
	ス	%	56.9	52.3	60.7	63.0	55.0	56.0	

事務事業ID	1063	事務事業名	成人大学講座(趣味・創作講座)開催事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 三陸町時代の平成6年度から、「町民の多様化した学習ニーズに応え、住民の学習活動を通して生きがいや楽しみに満ちた人生を送るような機会を提供すること」をねらいとして開始した。当初は、講演会と趣味創作講座を実施していたが、平成16年度から趣味創作講座のみとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 三陸町の事業だったこともあり、受講生も三陸地区の住民が多く占めているが、合併したことで旧大船渡地区からも受講することになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 受講者のアンケートを見ると、満足度は高く9割を超え、「とても楽しかった。」「次年度も受講したい。」という感想が大半である。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 住民に多様な学習機会を提供し、日々の生活の中に取り入れたり、引き続き学習活動を行うことによって、豊かさやゆとりを育むことができる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 講座謝金を公金で支払うことによって、受講料無料となるため気軽に参加することができるため、妥当である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 広く市内全域の成人を対象として、生涯学習のきっかけにしているため、適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 毎年受講していた方々の高齢化により受講者が減少しており、新規受講者がなかなか増えないことから成果の向上の余地がある。 また、講座終了後、学習も終了する方が多いため、成果向上の余地がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ アンケートで、「とても楽しい。」「次年度も参加したい。」と回答し、継続して学習を希望している人たちから不満が出るため、影響がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 働く婦人の家講座がある。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 住民(主として三陸地区在住)の学習の機会を奪ってしまうこととなるため、統廃合・連携ができない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 事業費の大部分が講師謝金であり、今年度も入学式・卒業式は行わずに講座のみを実施してきた。削減した場合は、講座数を減らすことになる。または、単価の安い講師しか依頼できないことになる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 事業への対応時間は、必要最低限である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 講座の中での教材費等は、受益者負担となっている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 参加者及び継続して学習する人の増加の余地はあり、これらを増加させていくことが課題である。</p>																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 現状の講座数で、曜日・時間帯や開設講座等を検討し、継続して学習できる環境を整備する。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)					<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																												
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 毎年受講されていた方々が高齢となり、受講されなくなっている。一方、新規受講生がなかなか増加しないことから、新しい講座の開設等により、新規受講生の増加を図る必要がある。 講座が終了すると、受講生の学習も終了してしまうことがあげられる。そのために、引き続き学習ができるようにサークルの設立や紹介などの支援が必要である。</p>																																

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																																
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 参加者の減少、参加率の増加により、参加者の固定化がうかがわれる。</p>																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 継続して事務事業を実施するが、新たな受講者を誘引するための工夫やPR活動の充実に努める。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																												
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
